

株主通信

第104期 中間報告書

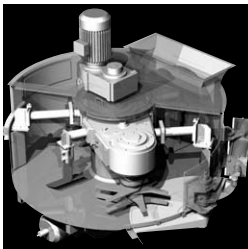
平成25年4月1日から平成25年9月30日まで



Synthetic Material



Machine Tools Accessories



Industrial Machinery

証券コード:6317



株式
会社

北川鉄工所

[http:// www.kiw.co.jp /](http://www.kiw.co.jp/)

株主のみなさまへ

株主のみなさまには、平素より、格別のご支援を賜わり、有難く厚くお礼申し上げます。

当社グループは平成25年9月30日をもって第104期中間期間(平成25年4月1日から平成25年9月30日まで)が終了いたしましたので、当該期間の事業概況についてご報告申し上げます。

当該期間におけるわが国経済は、経済・金融政策などからの円安・株高の効果により着実に景況感の改善が見られましたが、設備投資には力強さが見られず全般的な回復には至っておりません。また、国際的には中国の景気減速や金融不安に加え、米国金融緩和策が収束した場合の新興国への影響が懸念され、先行き不透明感が払拭できない状況が続いております。

当社グループにおきましては、海外を中心に自動車、農業機械関連が好調に推移しており、国内も建設関連がにわかに活気づいてまいりました。一方で、設備投資関連は回復の兆しはあるものの、依然として足踏み状態が続いております。

その結果、当中間期間は前年同期に比べ、自動車関連部品が好調に推移したこと、建設関連製品が好調に動き出したことなどにより、売上、利益共に増加しました。

当社グループといたしましては、生産効率の向上、経営品質の向上に努めるなど、収益拡大のための積極的な施策を行ってまいります。

株主のみなさまには引き続きご理解とご支援を賜わりますとともに、今後とも末永くご愛顧いただきますようお願い申し上げます。

経営成績(中間)の概要

(単位:百万円)

	第103期	第104期	増減
売上高	19,535	20,827	1,292
セグメント内訳			
金属素形材	9,455	10,888	1,433
工機	4,882	3,906	△ 976
産業機械	5,197	6,032	835
営業利益	552	858	306
セグメント内訳			
金属素形材	411	746	335
工機	747	470	△ 277
産業機械	512	758	246
全社費用	△ 1,119	△ 1,116	3
経常利益	499	1,157	658
純利益	352	702	350

平成25年11月



代表取締役社長 北川 祐治

連結決算の概要

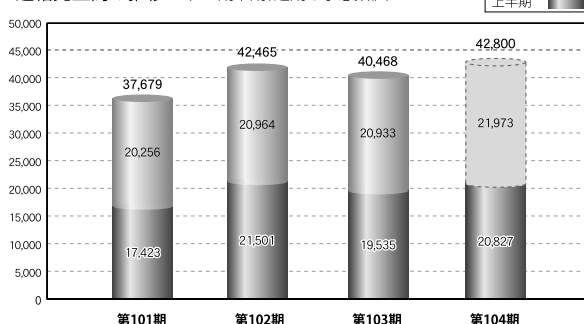
売上高

20,827百万円

前年同期比
6.6%増

自動車関連部品、農業機械部品、コンクリートプラント関連が堅調に推移したことにより、前年同四半期比 6.6%増加しました。

連結売上高の推移 (104期下期、通期は予想数値)



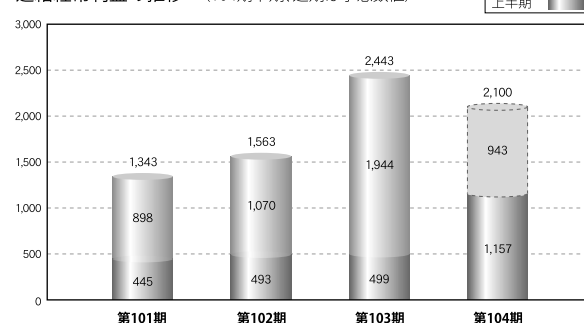
経常利益

1,157百万円

前年同期比
131.6%増

営業利益が増加したことに加え、為替差損が為替差益に転じたことにより、前年同四半期比 131.6%増加しました。

連結経常利益の推移 (104期下期、通期は予想数値)



* 第103期は下期に円安に振れたことにより、為替差益 1,217百万円を計上しております。

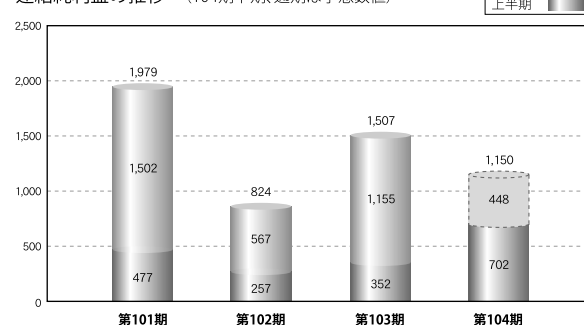
純利益

702百万円

前年同期比
99.0%増

経常利益が増加したことにより、前年同四半期比 99.0%増加しました。

連結純利益の推移 (104期下期、通期は予想数値)



トピックス

KITAGAWA MEXICO,S.A.DE C.V.での進捗

法人名称：KITAGAWA MEXICO,S.A.DE C.V.

所在地：メキシコ合衆国アグアスカリエンテス州P I L A工業団地

代表者：北川 宏

投資額：65億円

資本金：343百万ペソ

事業内容：自動車部品用等の鑄鉄鑄物の製造および加工

鑄造加工の一貫生産による供給開始：平成26年5月(予定)

昨年7月から建設を進めてまいりました工事も、今年3月に加工棟が、7月に鑄造等がそれぞれ完成し、7月3日に新工場完成引渡式を執り行いました。

加工工程につきましては、鑄鉄鑄物素材を日本から供給し、現地で加工した製品を9月から量産納入を開始しております。

鑄造工程につきましては、11月1日にアグアスカリエンテス州知事にご列席いただき、火入れ式を執り行い、来年5月からの鑄造加工の一貫生産による供給開始を目指して準備を進めております。

工場の特徴としましては、福山工場で採用している少人数による自動化ラインを採用しております。

また、現地で幹部を務めるメキシコ人スタッフの研修を約1ヶ月にわたり日本で行う他、日本人スタッフによる現地での技術指導など、当社のノウハウを活かした高品質の製品を提供できるよう努めてまいります。



セグメント別の概況

金属素形材事業

Synthetic Material

単位：百万円

第2四半期	第103期	第104期	対比
売上高	9,455	10,888	15.2%増
営業利益	411	746	81.2%増

自動車の世界需要は北米、中国を中心に好調を維持しており、国内においても平成25年の生産台数予測が940万台から965万台に上振れるとの情報もあり、良好な見通しとなっています。

当事業におきましては、自動車部品は中核である自動車ミッション部品が好調を維持してまいりました。農業機械部品は為替が円安に振れたこともあり、米国向けが堅調に推移してまいりました。建設機械部品は中国の需要低

迷が続き低調に推移したものの、事業全体としては、円安に振れたこともあり好調に推移してまいりました。

このような状況のなか、グローバル展開を踏まえて既存顧客のインシェア拡大と当事業の強みを活かした新規アイテムの受注獲得に努めるとともに、円安による国内需要をかかえ、受注変動に即した生産体制の対応と不良率・歩留などの改善による生産効率の向上に努めてまいりました。



事業内容

生型 casting ・ ロストワックス精密 casting ・ エバフォーム casting ・ MIM 焼結品及び casting 素材をベースとした機械加工品および組立完成品（自動車部品、各種機械部品）

セグメント別の概況

工機事業

Machine Tool Accessories

一般社団法人日本工作機械工業会の発表によりますと、当第2四半期(平成25年4月から平成25年9月まで)の工作機械受注額は月平均937億円強で推移し、前年同期に比べ、若干ではありますが減少となりました。一方で、為替が円安に振れたことにより、今後国内外の設備投資が増加し、工作機械受注額も上向くものと推測されます。

当事業におきましては、販売実績は、昨年好調だったIT関連の設備投資が無かったことも影響し、前年同期に比べ大きく減少しました。価格競争面では、国内外を問わず工作機械メーカーの新興国向けローコスト機

の販売が顕著に増えてきていることから、市場での価格競争が一層激化してきており、深刻の度合いが強まってまいりました。

このような状況のなか、比較的好調な自動車業界への販売強化、個別対応品チャックの販売強化、新商品の市場投入など、収益拡大のための積極的な施策を行ってまいりました。また、標準機器から特殊機器への展開を広げ、収益性の高い商品の販売に注力してまいりました。さらに、生産効率の向上、コスト改善のための設備投資、リードタイムの短縮を推し進めるなど、利益率の改善に努めてまいりました。

単位:百万円

第2四半期	第103期	第104期	対比
売上高	4,882	3,906	20.0%減
営業利益	747	470	37.1%減



NC円テーブル



パワーチャック



特殊チャック

事業内容

旋盤用チャック、油圧回転シリンダ、NC円テーブル、パワーバイス、ワークグリッパ、グリッパ

産業機械事業

Industrial Machinery

建設・土木業界では、永らく公共投資の抑制などによる市場の低迷感がありましたが、震災復興事業が本格的に始まり、アベノミクスとも相まって、全体的に好調感が見られました。また東京オリンピック開催が決定したことにより、東日本では更なる景気の拡大が期待されています。

当事業におきましては、生コンクリートの出荷量、セメント販売高が前年を上回るペースで推移しており、関連業界の先行きも明るく、改造工事、メンテナンス工事が売上・受注共に好調に推移しました。また、首都圏を中心としたオフィスビルなどの再開発が活況であり、ビル建設用タワークレーンの受注が拡大しました。

このような状況のなか、当事業におきましては、環境関連、特機関連では新商品の拡販に注力し、事業領域の拡大を図りました。自走式立体駐車場では、遊技場や病院、大型商業施設の新設計画に初期段階から参画することにより、他社に先行した営業活動を行い、また設計費や制作費のコストダウンを徹底させたことで、収益の改善に努めました。

このような状況のなか、当事業におきましては、環境関連、特機関連では新商品の拡販に注力し、事業領域の拡大を図りました。自走式立体駐車場では、遊技場や病院、大型商業施設の新設計画に初期段階から参画することにより、他社に先行した営業活動を行い、また設計費や制作費のコストダウンを徹底させたことで、収益の改善に努めました。

単位：百万円

第2四半期	第103期	第104期	対比
売上高	5,197	6,032	16.1%増
営業利益	512	758	47.9%増



▲コンクリートプラント



ビル建設用タワークレーン ▶

事業内容

コンクリートプラント、コンクリートミキサ(商品名：ジクロス等)、
環境関連設備(商品名：ペレガイヤ等)、リサイクルプラント(商品名：セレスター等)、
建築用ジブクレーン(商品名：ビルマン)

財務諸表

連結貸借対照表

区 分	前連結会計年度 (平成25年3月31日)		当第2四半期 連結会計期間 (平成25年9月30日)		区 分	前連結会計年度 (平成25年3月31日)		当第2四半期 連結会計期間 (平成25年9月30日)	
	金 額 (百万円)	構成比 (%)	金 額 (百万円)	構成比 (%)		金 額 (百万円)	構成比 (%)	金 額 (百万円)	構成比 (%)
(資産の部)					(負債の部)				
流動資産	29,568	55.8	30,919	52.6	流動負債	19,769	37.3	17,003	28.9
固定資産	23,389	44.2	27,875	47.4	固定負債	9,970	18.8	17,127	29.1
有形固定資産	19,177		23,147		負債合計	29,740	56.2	34,130	58.0
無形固定資産	367		370		(純資産の部)				
投資その他の資産	3,844		4,356		株主資本	22,161	41.8	22,670	38.6
					その他包括利益累計額	530	1.0	1,454	2.5
					少数株主持分	525	1.0	539	0.9
					純資産合計	23,217	43.8	24,664	41.9
資産合計	52,957	100.0	58,795	100.0	負債純資産合計	52,957	100.0	58,795	100.0

(注) 記載金額は百万円未満を切捨てて表示しております。

連結損益計算書

区 分	前第2四半期 連結累計期間 (自 平成24年4月 1 日 至 平成24年9月30日)		当第2四半期 連結累計期間 (自 平成25年4月 1 日 至 平成25年9月30日)	
	金額 (百万円)	百分比 (%)	金額 (百万円)	百分比 (%)
売上高	19,535	100.0	20,827	100.0
売上総利益	3,334	17.1	3,651	17.5
営業利益	552	2.8	858	4.1
経常利益	499	2.6	1,157	5.6
税金等調整前当期純利益	586	3.0	1,147	5.5
純利益	352	1.8	702	3.4

(注) 記載金額は百万円未満を切捨てて表示しております。

連結キャッシュフロー計算書（要約版）

(単位: 百万円)

	前第2四半期連結累計期間 平成24年4月1日から 平成24年9月30日まで	当第2四半期連結累計期間 平成25年4月1日から 平成25年9月30日まで
営業活動によるキャッシュフロー	△ 196	465
投資活動によるキャッシュフロー	△ 2,016	△ 4,119
財務活動によるキャッシュフロー	△ 87	3,388
現金及び現金同等物に係る換算差額	10	157
現金及び現金同等物の増減額	△ 2,289	△ 108
現金及び現金同等物の期首残高	9,660	8,886
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,370	8,778

(注) 記載金額は百万円未満を切捨てて表示しております。

株式の状況 (平成25年9月30日現在)

発行可能株式総数	普通株式	308,000,000株
発行済株式の総数	普通株式	96,508,030株
株主数		14,836名

大株主株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
北川鉄工所みのり会	4,938	5.16
株式会社広島銀行	4,460	4.66
みずほ信託銀行株式会社	2,300	2.40
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	2,061	2.15
日本証券金融株式会社	2,014	2.11
朝日生命保険相互会社	1,713	1.79
北川鉄工所自社株投資会	1,710	1.79
株式会社損害保険ジャパン	1,620	1.69
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	1,576	1.65
株式会社みずほ銀行	1,275	1.33
北川 祐治	1,242	1.30

* 持株比率は自己株式 (857,239株) を控除して計算しております。

会社の概況 (平成25年9月30日現在)

設 立	昭和16年11月28日
資 本 金	86億4千万円

役員

代表取締役社長	北川 祐治	取締役 執行役員	小川 民益
代表取締役副社長	北川 宏	取締役 執行役員	宇田 育造
取締役 常務執行役員	福永喜久男	常勤監査役	河村 光二
取締役 執行役員	北川日出夫	監 査 役 (独立役員)	武田 康裕
取締役 執行役員	佐藤 靖	監 査 役	内田 雅敏

会計監査人 有限責任あずさ監査法人

社会貢献活動

当社は一昨年創立70周年を迎えました。70周年を迎えるにあたり、地域の方々へ感謝の気持ちを込めて、ボランティア活動を毎年継続して続けて行くこととしました。

今期も全社員が30チーム程度に分かれ、養護学校でのお祭りの開催、公園の清掃活動、小学校遊具の塗装など、様々な形でボランティア活動を実施しました。

これからも地域・社会とともに100年企業を目指して、より確かな技術と価値を提供できるよう努めてまいります。



株主メモ

事業年度 毎年4月1日から毎年 3月31日まで

定時株主総会 毎年6月下旬

剰余金の配当基準日 3月31日

単元株式数 1,000株

単元未満株式の
買取及び買増 単元未満株式(1株～999株まで)の買取及び買増のご請求は下記のお取扱店でお取扱いいたします。単元未満株式を証券会社の口座に振替えられた株主様はお取引の証券会社にて取扱いいたします。

株主名簿管理人 東京都中央区八重洲一丁目2番1号
みずほ信託銀行株式会社

公告方法 ホームページに電子公告しますが、やむを得ない事由によって電子公告出来ない場合は、日本経済新聞に掲載して公告いたします。
アドレス <http://www.kiw.co.jp/>

	証券会社等に口座をお持ちの場合	証券会社等に口座をお持ちでない場合 (特別口座の場合)
郵便物送付先	お取引の証券会社等になります。	〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
電話お問い合わせ先		フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く 9:00～17:00)
各種手続取扱店 (住所変更、株主配当金 受取り方法の変更等)		みずほ証券株式会社 本店および全国各支店 プラネットブース(みずほ銀行内の店舗) *カスタマープラザではお取り扱いできませんので ご了承ください。 みずほ信託銀行株式会社 本店および全国各支店 *トラストラウンジではお取り扱いできませんので ご了承ください。
未払配当金のお支払	みずほ信託銀行およびみずほ銀行の本店および全国各支店 (みずほ証券では取次のみとなります)	
ご注意	支払明細発行については、 右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問い合わせ先・各種手続お取扱店をご利用ください。	特別口座では、単元未満株式の買取・買増以外の株式売買はできません。証券会社等に口座を開設し、株式の振替手続を行っていただく必要があります。



株式
会社

北川鉄工所

KITAGAWA IRON WORKS CO.,LTD.

〒726-8610 広島県府中市元町77-1
77-1, Motomachi, Fuchu-shi, Hiroshima, 726-8610 Japan
Tel. (0847) 45-4560 Fax. (0847) 45-0589

■営業拠点

仙 台 仙台市若林区大和町4-15-13
東 京 さいたま市北区吉野町1-405-1
東京日産台東ビル8階
名古屋 名古屋市中川区上高畑2-62
大 阪 大阪市住之江区北加賀屋3-2-9
広 島 広島市南区東雲本町2-13-21
九 州 福岡市博多区板付7-6-39

〒984-0042	Tel. (022) 232-6732 (代)	Fax. (022) 232-6739
〒331-9634	Tel. (048) 666-5650 (代)	Fax. (048) 663-4678
〒111-0041	Tel. (03) 3844-7101 (代)	Fax. (03) 3844-7134
〒454-0873	Tel. (052) 363-0371 (代)	Fax. (052) 362-0690
〒559-0011	Tel. (06) 6685-9065 (代)	Fax. (06) 6684-2025
〒734-0023	Tel. (082) 283-5133 (代)	Fax. (082) 285-8830
〒812-0888	Tel. (092) 501-2102 (代)	Fax. (092) 501-2103